

あなたも わたしも 大切な ながさかっこ 聴き合っ 話し合っ ともに学ぼう !

# ながさかっこ



ながさかしょうがっこう 長坂小学校だよりNo.8 2023年12月発行 発行責任者: 校長 國分 孝明

本日2学期が終了しました。終業式を終え、各教室で「のびゆく子」を担任の先生からもらい、その成績に一喜一憂しているようでした。もちろん「よくなる」が増えた子、「がんばろう」が減った子もいれば、そうではない子もいました。しかしながら、そこに表れているのは「とある1つの側面」だということを大人は知っておくべきだと思います。数字には表れにくい「がんばり」がそれぞれの子にあるということを忘れてはいけません。また、成績が下がっているところがあっても次への目標が明確になったととらえることで、次の「がんばり」につなげることができます。本日持ち帰った「のびゆく子」を一緒に見ながら、来年はどう伸びていくのかを冬休みの間に話し合ってもらい新しい年を清しい気持ちで迎えてもらえればと思います。

それでは、2023年をがんばった自分に拍手!!やってくる 2024年に希望をもって笑顔で!!よいお年をお迎えください。



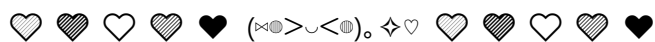
ふゆやす せいかつ ようじん  
冬休みの生活もご用心

今日の終業式では『命』についてのお話がありました。あなたの命、わたしの命、みんなの命。みんなの命は、カッコイイ車よりも、たくさんのお金よりも、とっても便利な未来の道具よりも、もっとも大切なんだよということを子どもたちと確認しました。そんな大切な命を守るために、冬休みに気をつけてほしいことがあります。

1つめは「病気やケガに気をつけよう。」です。冬休みに体調を崩したり大きなケガをしたりしたくないものです。今年は例年にも増してインフルエンザが流行っているようです。外から帰ってきたときや食事の前には、手洗いうがいをしっかりしてください。また、交通事故だったり、危険な遊びをして大きなケガをしたりなど大変なことに巻き込まれるケースもあります。そうならないためにもルールや決まりをしっかり守って生活するようにしてください。

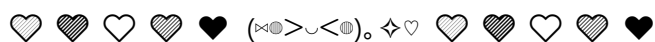
2つめは「知らない人にはついていかない。」ということです。これまでも不審者についてのお話はしていますが、最近、SNS等で出会った人と実際に会うことによって大きなトラブルに巻き込まれるという事件が起きています。自分の身を守るためにも、「知らない人にはついていかない。」ようにお家で確認してください。

ここからは、長坂小学校から児童のみなさんへのメッセージです。



「今日から待ちに待った冬休みを迎えるわけですが、冬休み中も忘れないうちに、学校は少しの間お休みになりますが、みなさんが「ながさかっこ子」であることには変わりありません。何かを言ったり、行動したりする前には、まずそれが良いことかどうかをよく考え、相手の気持ちを考えた行動をするようにしてください。

来年1月9日の始業式の日、元気なみなさんと再会できることを楽しみにしています。」



けいさつしょ たんけん ねんせい  
警察署を探検!! (3年生)



12月12日(火)に3年生は、警察署へ町たんけんに行ってきました。

警察署では、おまわりさんから自転車に乗る時の「3つの左」、点検の合言葉「ハラブツバサ」を教えてもらったり、危ない事故・事件に合わないための話を聞いたりしました。また、パトカー乗車体験や署長室をはじめ署内を見学させてもらって、初めて知ることがたくさんありました。



子どもたちは、「物はお金を出したら買えるけど、命はお金を出しても買えないとわかった。」「けいさつしょに行くと、ぼくもだれかの力になりたいと思いました。」など、見学から自分なりの学びを得ていました。

3年生ではこれまで10施設の町たんけんに行ってきました。その中で、色々な施設や仕事があること、町の安全や安心を守ってくれている人たちがいること、みんなが幸せに暮らせるように願っている人たちがいることなどたくさんを知ることができました。自分の視野を広げ、社会とのつながりを感じる町たんけんとなりました。

ぜんこくがくりよくがくしゅうじょうきょうちようさ  
全国学力学習状況調査より

4月に行われた全国学力学習状況調査(国語・算数・質問紙)の結果について学校内で話し合いました。今年度の6年生を対象に行われたこの調査の結果から「どのような力をつけてきているか」「今後どのような力が必要か」などを分析し、それぞれの学級での指導にいかしていくための方法を話し合いました。詳しい内容は、ながさかしょうがっこう 長坂小学校のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

ながさかしょうがっこう じどう とうくちよう  
☆長坂小学校の児童の特徴☆

- ◎全体的に無回答が少なく、最後まで全力でやり切ろうとする
- ◎あたたかい学級が形成され、自己肯定感が上がっている
- ◎外国語の授業に児童が意欲的にとり組んでいる
- △複数の資料から情報を選び出すことが苦手(国語)
- △漢字を文章中で使うことが苦手(国語)
- △言葉と数を用いて考え方を言語化し、記述することが苦手(算数)

以上のような状況の中から、長坂小学校では各教科の基礎基本を大切にしながら、「分からない」を「やってみよう」につなげるような声かけや「できたやん」と一緒に喜びを分かち合うことを続けていきます。そのために、クロムブックの活用した学習の展開や子どもが書いたり考えたりしながら主体的に学べるような授業を進めていきます。また、これまでとり組んできた「ばっちりウィーク」などでお家の方の力も借りながら、子どもたちのやる気をアップできるようにしていきたいと思えます



# 大空にひびけコンサート 特集

11月25日(土)に第21回大空にひびけコンサートが開催されました。この日のために約2か月間の練習を子どもたちはがんばってきました。子どもたちは練習のなかで、時にはいやになったりしたこともあったと思いますが、どの学級も最後までやり遂げることができました。

当日はとても緊張している様子の子もたくさんいましたが、練習の成果を仲間や保護者のみなさまに存分に発揮できたように思います。

## 1年生

### 1組「元気いっぱい歌やダンスを

### みんなに届けることができたで賞」

1年生は、はじめての大空にひびけコンサートでした。『青い空に絵をかこう』では、元気いっぱいの「えいやっ!」で楽しい冒険にでかけました。『きらきらぼし』の演奏もかわいらしく、一生懸命にけんぱんハーモニカを吹いている姿がありました。最後には『うちゅうじんに会えたら』の合唱で「シュッ」とロケットを表現しながら歌いました。そんな元気のいい子たちを見に宇宙人もUFOに乗って長坂小学校の体育館上空にやってきましたのではないのでしょうか。

## 2年生

2年生は大空にひびけコンサートのオープニングを飾りました。連合音楽会でも披露した『やさしきにつつまれたなら』と『おかしなすきなまほうつかい』を魔法使いになりきって歌いました。体育館を音楽の世界に変えてくれる素敵な歌声でした。

### 1組「キラキラ、楽しく、みんなを小さなせかいにつれていったで賞」

1組のみんなが『小さい世界』を演奏しました。大太鼓のリズムにのせて、木琴やけんぱんハーモニカなどの音が重なり楽しく小さな世界を表現していました。

### 2組「楽器で楽しく おしゃべりできたで賞」

2組のみんなは、『こげよマイケル〜ゆかいなまきば〜』を演奏しました。鉄琴や木琴の音色にけんぱんハーモニカが応えるような感じで、楽器どうしのおしゃべりが聞こえてくるようでした。

## 3年生

低学年の部を締めくくったのは3年生でした。『左手5音のためのメドレー』では、本当に5音だけなのと思うほどの素敵な演奏でした。『やさしい風』では、友だちとの出来事を情緒たっぷりに歌い、優しい空間を演出していました。

### 1組「みんなで力をあわせて、すてきな風を表現できたで賞」

1組の『風になりたい』では、サンバのリズムを感じる演奏を披露してくれました。難しいリズムですが指揮者を意識しながらみんなで合わせようという気持ちが見える演奏でした。

### 2組「やさしい風がふいてきて 温かい気持ちになったで賞」

『チキチキバンバン』では、愉快なリズムを表現してくれました。聞いていると心がウキウキするような感じがあり、演奏しているみんなの楽しい気持ちが伝わってきました。

## 4年生

### 1組「気球にのって 輝く千本桜をみせたで賞」



4年生は、高学年の部に初めて参加しました。『気球に乗ってどこまでも』では、空高く上がっていく気球を歌声で表現してい

ました。続いて『千本桜』の演奏に移ると、さっきまで乗っていた気球からの景色を見せてくれているようで、満開の桜をそれぞれの楽器の音色にのせて表現していました

## 5年生

5年生は、『大切なもの』を歌いました。この歌を誰に届けたいのかははっきりとわかる歌唱で、その気持ちが心にしみてくるのを感じることができました。

### 1組「ハハリのリズムで5-1が神話になったで賞」

『残酷な天使のテーゼ』では、おなじみのメロディを演奏しました。演奏後は「最後までやりきった」という満足感がどの顔にも表れていました。



### 2組「最後まであきらめずにみんなで音楽を完成させたで賞」

『ウィアー!』は全員が集中してリズムを合わせる事が大切です。本番では、それをみんなでがんばって成功させることができました。あきらめないことが大切と感じた瞬間でした。

## 6年生

### 1組「会場全体を盛り上げて1つにしたで賞」

ドラムの音とともに幕が開くと、子どもたちが飛び出してきて演奏が始まりました。音もド派手に響き渡り、リズムとダンスがたたみかけてくるステージとなりました。

### 2組「会場みんなを曲の世界観に引き込んだで賞」

うって変わって2組では、リトルマーメイドの世界観を音にのせたステージとなりました。海中の静けさ、マーメイドの美しさ等、曲調の変化を自在に操った演奏でした。



最後は6年生全員で『orizuru』を合唱しました。声量もさることながら、それぞれのパートの重なり合いなどさすが6年生と感じました。平和への思いを水平線の向こうまで届ける歌声は、これまでの仲間づくりがなせるものだとも感じました。

